

# 風水害対策編

地震の時もそうだったけど、風水害での事前の備えは、どんなことが必要なの？

自分の住んでいる場所を含めて、大雨の時にどんな状況になるのかを知ることが必要なの。そのために「清瀬市洪水ハザードマップ」があるから参考にするといいわ。

自分の住んでいる場所が浸水箇所に想定されていたら、どうすればいいの？

まずはやっぱり自分の安全を確保すること。そのためには、安全な場所へ早めに避難することが重要よ。特に台風などは事前に予報が出ているから、迷わずに避難の行動を起こすこと。気象庁からの情報をもとに市も避難勧告を出したりしているから、情報の名前と内容をよく知っておくのも大事ね。

避難勧告が出たらすぐに避難しなきゃね。でも、どんなことに気をつければいいの？

まずは、日ごろから自分が避難する場所の確認をしておくこと。また、避難の際には、できるだけ動きやすい服装で、なおかつ見通しの良い時間帯に避難することが大切よ。また、雨の強い夜中など避難がかえって危険な場合があるから、自宅や近所の丈夫な建物の2階以上の安全な場所へ行くことも事前に決めておくと、いざという時に役に立つわ。

そうか、いろんなことを事前に知っておく必要があるね。それに、近所の安全な場所の確認とか、隣近所にお世話になるかもしれないし、前もって皆で話し合っておくことも必要なの？

それにしても、ここ最近の急激な雨の降り方には注意が必要だね。よく家への浸水を抑える意味で土嚢を使うみたいだけど、清瀬市ではどうしてるの？

清瀬市でも常に土嚢をストックしていて、土嚢が必要ななら市役所本庁舎へ取りに行けば渡してもらえらる仕組みがあるわ。また、有事の際には職員が配布する場合もあるけど、人手や搬送車にも限りがあるから、個々で事前に用意しておくといいわ。また土嚢だけでなく、ポリ袋を使用した水嚢工法なども効果的よ。



平成 28 年 8 月 22 日、増水した柳瀬川

台風 9 号の影響により増水し、危険水域に達した柳瀬川。市内で始めて避難勧告も出されました。

◆清瀬市洪水ハザードマップ  
市では、浸水害・土砂災害に関する内容をまとめた「清瀬市洪水ハザードマップ」を作成しています。市ホームページで確認できますが、マップをご希望の方は、清瀬市防災防犯課に、お問い合わせください。また、このマップの内容に関する「出前講座」も行っていますので、そちらもご活用ください。



### ◆避難に関する情報

台風などで雨が降り続いた時は、がけ崩れなどの土砂災害が発生する危険性が高まります。気象庁と東京都は、土砂災害の発生危険性が非常に高まった場合に「土砂災害警戒情報」を原則、市町村単位で発表します。

清瀬市に「土砂災害警戒情報」が発表された場合、避難に関する情報（「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」）を、急傾斜地崩壊危険箇所の巡視などの結果を含め、総合的に判断して発表します。

情報名	要約
土砂災害警戒情報	降雨が続き、土砂災害警戒区域(指定されたがけ地)を中心に、崩壊の恐れがある場合に気象庁と東京都が合同で発表します。
記録的短時間大雨情報	数十年に一度の短時間で大雨が降る状況の場合や降る可能性がある場合に気象庁より発表します。
特別警報	数十年に一度の大雨が降る状況の場合や降る可能性がある場合に気象庁より発表します。

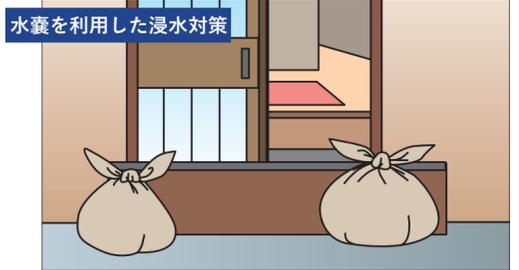
### CHECK! 避難準備情報・避難勧告・避難指示

避難に関する情報には、次の3種類があります。「避難に関する情報」が清瀬市から発表された場合、市民のみなさん(特に柳瀬川・空堀川の周辺にお住まいの方)は避難するかどうかを判断し、必要に応じて避難行動を開始してください。

情報名	皆さんに求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	災害による被害が予想され、高齢の方など、避難に時間を要する人は避難を開始する必要があります。
避難勧告	災害による被害が予想され、居住者に立ち退きを勧め促します。
避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、「避難勧告」よりも緊急度が強くなります。

良いところに気がついたね。実は風水害はもちろん、地震の時もすごく重要なことで、有事の際に地域の住民の方が結束して安全を確保できるかがとても大切で、清瀬市の災害対策でもこの部分に力を入れて取り組んでいるの。これを自主防災組織の登録制度として、広めようと努力しているわよ。

自主防災組織については4面へ



水嚢は、市販のビニール袋(45ℓ程度の大きさ)を2枚重ね合わせそのなかに水を入れて閉じると出来上がります。玄関やマンションの入り口に水嚢を積み上げたり、板を立てかけて水嚢を置くことで、浸水を防ぐことができます(上図)。

食糧などはどうすればいいの？ よく備蓄食糧って聞くけど、清瀬市の場合はどうなってるの？

清瀬市では、避難者想定数の3日分の食糧の備蓄を行っているの。でも、皆それぞれの必需品があるだろうから、個別の非常持ち出し袋などを用意しておくことはすごく大切なことよ。

備蓄のことはよくわかったけど、地震があっても助かっても、お母さんたちと離れ離れだったらどうすればいいの……？

地震が起こる前から、どうすれば連絡が取れるか決めておいた方がいいわね！ 代表的な安否確認ツールには右のようなものがあるわ。使い方を確認して、家族間で連絡方法を決めておきましょう。

連絡が取れると安心だし、次の行動につながるもんね。でも、具体的に大きな地震があっても、避難する場合はどうするの？

第一に、身の安全を守ることを考えて行動すること。そのためには、まず危険を回避できる場所へ移動するの。次に、指定緊急避難場所へ避難して、その後避難所へ行くのか、自宅に戻るとどまるのかの様子を見ることになるわ。

そうなんだ、自宅に大きな被害があれば、避難所生活になるのか。避難所生活って大変なんじゃない？

確かに大きな災害後には、いろんな人がたくさん集まって生活をしていくことになるから、ルール作りはとてもその場でできるものじゃないわ。だから、清瀬市では事前に地域住民の方などを集めて学校単位で避難所運営協議会としての組織づくりを進めているの。

避難所運営協議会については4面へ

そうか、昨年の熊本地震では、救援物資が速やかに届かないから、食糧の配布などが問題視されることもあったよね。そうしたルールづくりは必要だね。

もちろん、物資の供給の対応だけでなく、トイレ問題や高齢者や障害者への配慮など、少しでも快適性が向上するルールが望まれるわね。

◆非常持ち出し品の準備を  
首都直下地震などの大規模災害が発生した場合、ライフラインが寸断されるとともに、道路ががれきりで閉塞するなどにより、物流が麻痺して食料品や生活必需品が入手困難となる恐れがあります。

このような事態に備え、防災用の非常食を備えるのも一つの方法ですが、日用品を少し多めに備える「日常備蓄」いわゆるローリングストックの考え方に基づいた備蓄の実践も有効な手段です。

《参考例》非常用持ち出し袋 チェックシート

<p>■必ず入れるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□飲料水・非常食 (家族3日分が目安、飲料水1人1日3ℓ)</li> <li>□救急医療薬品類</li> <li>□携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池</li> <li>□現金、貴重品</li> <li>□衣類、下着</li> <li>□簡易トイレ</li> </ul>	<p>■必要に応じて入れるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□通帳 □印鑑 □ろうそく</li> <li>□ライター □ナイフ □手袋</li> <li>□毛布 □ヘルメット □防災ずきん</li> <li>□生理用品 □ミルク</li> <li>□ほ乳びん □紙おむつ</li> <li>□おもちゃなど</li> </ul>
---	--

◆安否確認手段を複数決めておく  
災害時、通常の電話はつながりにくくなります。その対応として、災害時の安否確認方法がいくつか用意されています。家族間での安否確認方法をいくつか決め、いつでも使えるようにしておくことが大切です。

CHECK! 代表的な安否確認ツール

音声メッセージで伝えたい

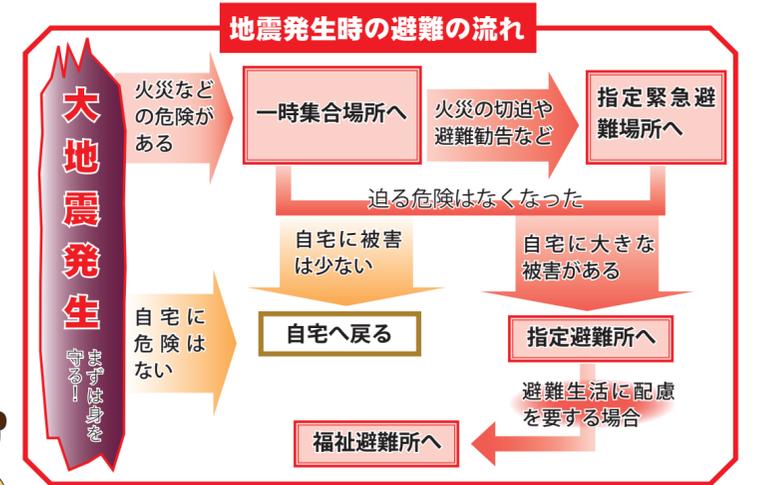
- ☆災害用伝言板 web171
- 携帯電話の災害用伝言板
- Googleパーソンファイnder
- SNS (ツイッター・フェイスブック・LINEなど)
- スマホの災害用アプリ
- J-anpi

文字メッセージで伝えたい/確認したい

☆災害用伝言ダイヤル「171」

■災害用音声お届けサービス

上記☆のサービスは、毎月1日・15日、正月3日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)には、試験的に体験ができます!



わが家の防災メモ

□ 家族などの連絡先/安否確認方法は

□ わが家の避難場所は

□ 待ち合わせ場所は

家族間で話し合ってお互いに記入し、切り取って財布などに入れていつでも持ち歩けるようにしておきましょう。